

## ディーラーマニュアル

# MTB ホイールセット Non-Series

WH-MT68  
WH-MT66  
WH-MT35  
WH-MT15  
WH-MT500  
WH-MT501  
WH-MT600  
WH-MT620

# 目次

<b>重要なお知らせ</b> .....	<b>3</b>
<b>安全のために</b> .....	<b>4</b>
<b>取付け</b> .....	<b>7</b>
タイヤサイズ .....	7
使用工具一覧 .....	8
スポークプロテクターの取付け .....	8
カセットスプロケットの取付け/取外し .....	9
ディスクブレーキローターの取付け .....	9
<b>メンテナンス</b> .....	<b>10</b>
スポークテンション値 .....	10
スポークの交換 .....	11
分解と組立 < Thru Axleタイプ > .....	12
分解と組立 < クイックリリースタイプ > .....	19
フリーホイール部の交換 < クイックリリースタイプ > .....	21
フリーホイール部の交換 < Thru Axleタイプ > .....	22
カバーリングテープとリム穴キャップの交換 .....	24
チューブレステープの交換 .....	26
シーラント剤の使用法(タイプ-Aの場合) .....	28
チューブレスタイヤの脱着方法 .....	29

## 重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

### 危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

### 警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

### 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

# 安全のために

## 警告

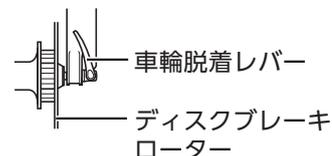
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。  
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立で、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な眼の保護具を着用する。

### 以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 乗車前には車輪が固定されていることを確認する。  
転倒して大怪我をすることがあります。
- 乗車前にはハブ取付軸に亀裂が無いかどうか十分確認し、不具合を発見した時は使用を中止する。  
このホイールはダウンヒル、フリーライド用に設計されていませんので、ダウンヒル用に使用されると車輪の変形、あるいは破損により転倒の恐れがあります。
- 製品の取扱説明書を十分に読んで正しく使用する。  
クイックリリースの使用方法を誤りますと車輪の脱落等により重傷を負うことがあります。
- 乗車前にはスポークの折れ、緩み、リム面のへこみ、キズ、割れなどがないかどうか車輪を点検し、これらの症状がある場合は使用を中止する。  
車輪が破損し、転倒する恐れがあります。

#### < F15 (フロント15 mm軸)、R12 (リア12 mm軸) ホイール (Thru Axle) >

- このホイールは専用のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでのみ使用する。  
それ以外のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでは、自転車の乗車中に車輪が自転車から外れ、重傷を負うことがあります。
- 手のひらを使って車輪脱着レバーを力いっぱい強く締めても、車輪脱着レバーがディスクブレーキローターに干渉しない事を確認する。  
ディスクブレーキローター側に車輪脱着レバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉する恐れがあり危険です。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。
- 製品の取扱説明書を十分に読んで正しく使用する。  
車輪脱着レバーの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。



#### TL：チューブレスホイール

- タイヤの脱着は手でおこなう。  
どうしても作業が困難な場合は、樹脂製のチューブレス対応タイヤレバーを使用してください。その場合、タイヤとリムのシール部にダメージを与え、空気漏れを起こすおそれがありますので、必ずリム面の凹み、キズ、割れなどが発生していないか確認してください。また、カーボンリムの場合はカーボンの剥離やクラックなどが発生していないことを確認してください。最後に空気漏れのないことを確認してください。

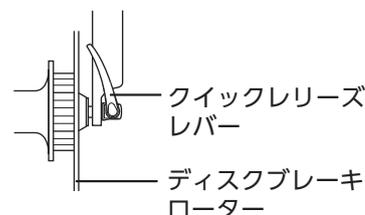
#### < F15ホイール (Thru Axle) >

- 前車輪をフロントサスペンションフォークに取付ける際は必ずフロントサスペンションフォークの取扱説明書に示している指示を守る。  
前車輪の固定方法と固定トルクはそれぞれのフロントサスペンションフォークによって異なります。取扱いが適切でないと前車輪が脱落して重傷を負う恐れがあります。

### < F(フロント)、R(リア)ホイール >

- 手のひらを使ってクイックリリースレバーを力いっぱい強く締めても、クイックリリースレバーがディスクブレーキローターに干渉しない事を確認する。

ディスクブレーキローター側にクイックリリースレバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉する恐れがあり危険です。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。



### 自転車への組付け、整備に関する事項

- ディスクブレーキを使用する。  
この車輪はディスクブレーキ専用車輪です。リムブレーキには対応しません。

### ⚠ 注意

#### 以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- タイヤに表示されている適切な空気圧で使用する。
- パンク修理剤、シーラントをご使用になる場合は、販売店または代理店へ相談する。

### < WH-MT66/WH-MT68/WH-MT600/WH-MT620 >

- この車輪を使用する際は、カバーリングテープおよびリム穴キャップ(タイプ-Aの場合)、チューブレステープ(タイプ-Bの場合)を必ず使用する。
- カバーリングテープ、リム穴キャップ、チューブレステープはシマノ純正品を使用する。  
パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
- リムテープは使用しない。  
タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などの恐れがあります。

### < WH-MT35/WH-MT15-A/WH-MT500/WH-MT501 >

- 突然のパンクにより転倒などの恐れがあるため、リムには高压に耐えうるリムテープを使用する。  
また一度車輪から取外したリムテープの再使用もお勧めできません。再使用されると突然のパンクにより転倒などの恐れがあります。

#### ■慣らし運転

- 慣らし運転期間のブレーキ制動力に注意する。  
ディスクブレーキには慣らし運転期間があり、慣らし運転がすすむにつれブレーキ制動力が上がっていきますので、ブレーキの制動力増加に対し注意を払い順応してください。ブレーキパッドあるいはディスクブレーキローターを交換した場合も同様です。

### 自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ専用工具(TL-FC36)でディスクブレーキローター固定リング脱着時、手がディスクブレーキローター外周部に触れないよう注意する。  
手を切る恐れがありますので保護手袋を着用してください。

## 使用上の注意

### 以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 別売品の専用ニップルレンチがあります。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- 初期フレが出た場合か、使用開始から1,000 km走行を目安に販売店でスポークテンション調整をお勧めいたします。
- リムのステッカーが剥がれますので洗剤や薬品などを使用して車輪を拭かないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

### 自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ製純正のスポーク、ニップルを使用してください。ハブ体のスポーク挿入部分を破損する恐れがあります。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- 対応リフレクター、スポークプロテクターはスペック表 (<https://si.shimano.com>) でご確認ください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

# 取付け

## ■ タイヤサイズ

シリーズ	サイズ	クイックリリースタイプ	Thru Axle タイプ	タイヤサイズ
Non-Series	26	WH-MT68-R	WH-MT68-F15 WH-MT68-R12	26x1.95-2.50
	26	WH-MT66-F WH-MT66-R	WH-MT66-F15	26x1.50-2.25
	29	WH-MT66-F-29 WH-MT66-R-29	WH-MT66-F15-29 WH-MT66-R12-29	29x1.50-2.25
	26	WH-MT35-F WH-MT35-R	WH-MT35-F15	26x1.50-2.25
	27.5	WH-MT35-F-275 WH-MT35-R-275	WH-MT35-F15-275	27.5x1.50-2.25
		WH-MT500-F-275 WH-MT500-R-275	WH-MT500-F15-275 WH-MT500-R12-275 WH-MT500-F15-B-275 WH-MT500-R12-B-275 WH-MT501-R12-B-275 WH-MT600-TL-F15-275 WH-MT600-TL-R12-275 WH-MT600-TL-F15-B-275 WH-MT600-TL-R12-B-275	27.5x2.00-2.40
		-	WH-MT620-TL-F15-B-275 WH-MT620-TL-R12-B-275	27.5x2.25-2.50
	29	WH-MT35-F-29 WH-MT35-R-29	WH-MT35-F15-29	29x1.50-2.25
		WH-MT500-F-29 WH-MT500-R-29	WH-MT500-F15-29 WH-MT500-R12-29 WH-MT500-F15-B-29 WH-MT500-R12-B-29 WH-MT501-R12-B-29 WH-MT600-TL-F15-29 WH-MT600-TL-R12-29 WH-MT600-TL-F15-B-29 WH-MT600-TL-R12-B-29	29x2.00-2.40
		-	WH-MT620-TL-F15-B-29 WH-MT620-TL-R12-B-29	29x2.25-2.50
	26	WH-MT15-A-F WH-MT15-A-R	WH-MT15-A-F15	26x1.50-2.25
	27.5	WH-MT15-A-F-275 WH-MT15-A-R-275	WH-MT15-A-F15-275	27.5x1.50-2.25

シリーズ	サイズ	クイックリリースタイプ	Thru Axle タイプ	タイヤサイズ
Non-Series	29	WH-MT15-A-F-29 WH-MT15-A-R-29	WH-MT15-A-F15-29	29x1.50-2.25

## ■ 使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

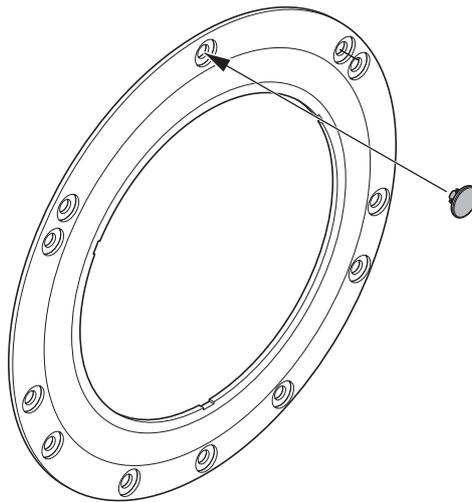
使用箇所	工具
ハブ	13 mmハブスパナ, 15 mmハブスパナ, 17 mmハブスパナ, 18 mmハブスパナ, 22 mmハブスパナ, 23 mmハブスパナ, TL-HS22, TL-FH15, TL-WR37

## ■ スポークプロテクターの取付け

取付け可能なホイールの情報については、互換性情報 (<https://productinfo.shimano.com>) をご確認ください。

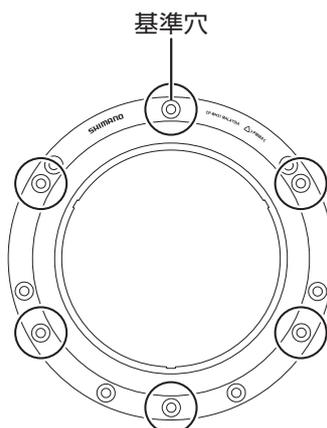
### < CP-WH31 >

1. スポークプロテクターにピンを取付けます。

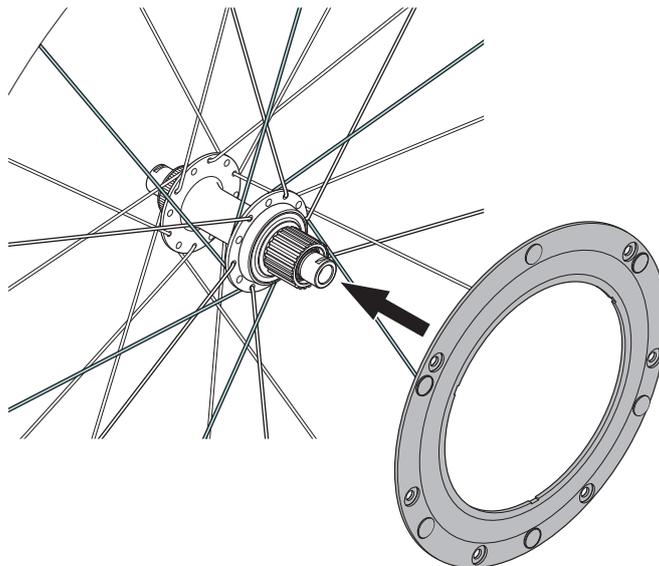


### 使用上の注意:

- ピンの取付け位置は、以下を参照してください。SHIMANOロゴとモデル名の間基準穴があります。



2. スポークプロテクターを取付けます。  
外側のスポークにピンを押し込み取付けます。



### ■ カセットスプロケットの取付け/取外し

カセットスプロケットの取付け/取外し方法は、カセットスプロケットのディーラーマニュアルを参照してください。

### ■ ディスクブレーキローターの取付け

ディスクブレーキローターの取付け方法は、ディスクブレーキのディーラーマニュアルを参照してください。

# メンテナンス

## ■ スポークテンション値

< WH-MT68/WH-MT66/WH-MT35/WH-MT15/WH-MT501/WH-MT600 >

スポークテンション値		
前用	右側	左側
	600 - 1,000 N	900 - 1,350 N
後用	右(ギア)側	左側
	900 - 1,350 N	600 - 1,000 N

\* この数値は目安です。

< WH-MT500/WH-MT620 >

スポークテンション値		
WH-MT500-F/ WH-MT500-F15	右側	左側
	29": 550 - 850 N 27.5": 550 - 919 N	29": 800 - 1,200 N 27.5": 853 - 1,253 N
WH-MT500-F15-B		29" & 27.5": 800 - 1,200 N
WH-MT620-TL-F15-B	29" & 27.5": 880 - 1,158 N	29" & 27.5": 922 - 1,172 N
WH-MT500-R/ WH-MT500-R12	右(ギア)側	左側
	29" & 27.5": 900 - 1,300 N	29": 550 - 850 N 27.5": 550 - 900 N
WH-MT500-R12-B		29" & 27.5": 550 - 900 N
WH-MT620-TL-R12-B	29" & 27.5": 1,003 - 1,253 N	29" & 27.5": 900 - 1,202 N

\* この数値は目安です。

### MT68/MT66/MT500/MT600/MT620

スポーク数：24本

\* MT66の29インチのみ、リアが28本になります。

### MT35/MT15-A/MT501

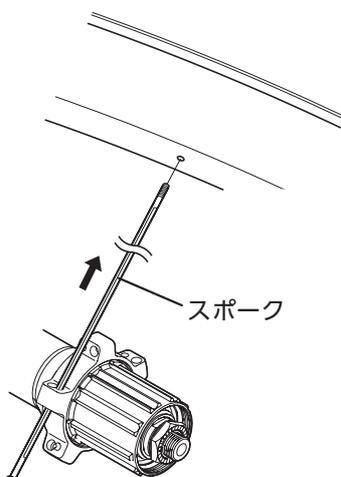
スポーク数：28本

\* MT35のフロント、MT501のリアは24本になります。

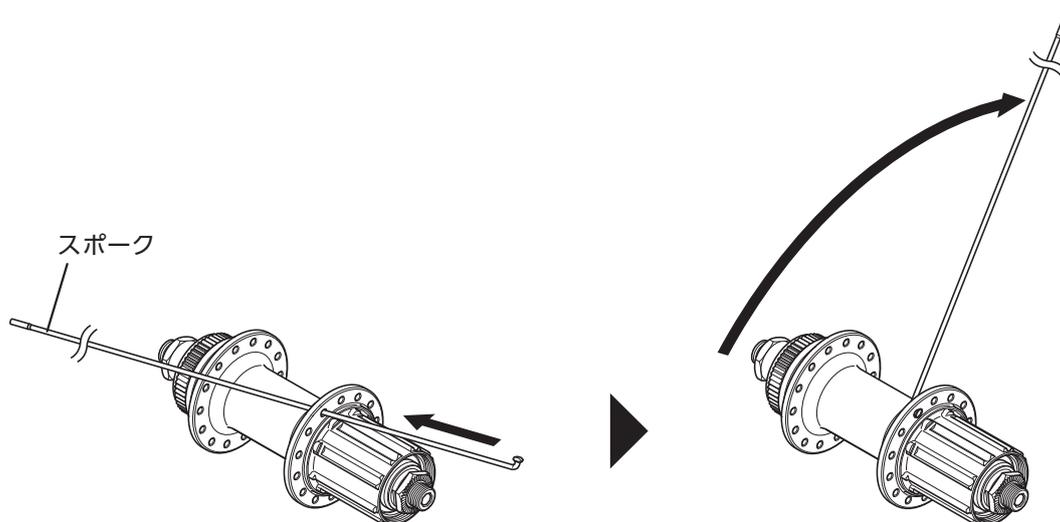
## ■ スポークの交換

1. 図のようにスポークをハブに通して、取付けてください。

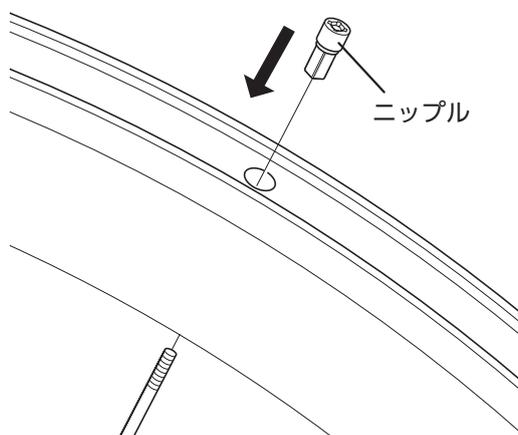
< MT68/MT66/MT600 >



< MT35/MT15-A/MT500/MT501/MT620 >



2.



## ■ 分解と組立 < Thru Axleタイプ >

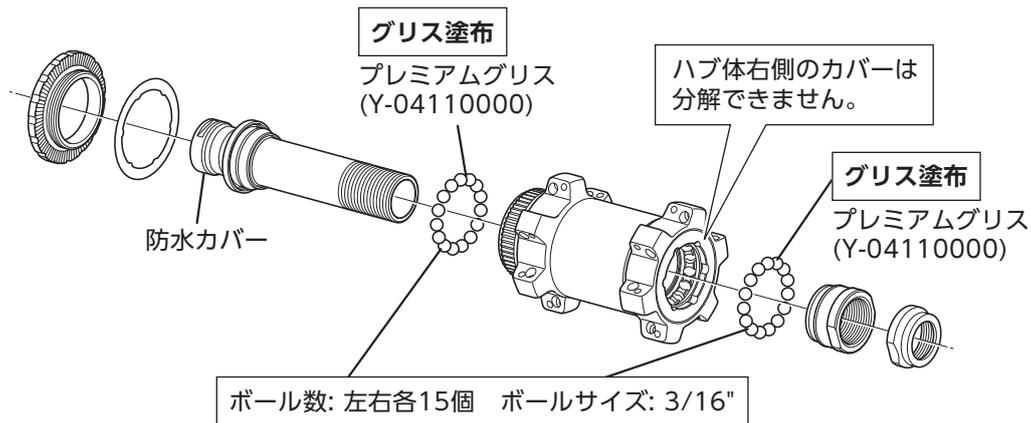
### MT68/MT66 < フロント >

#### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。

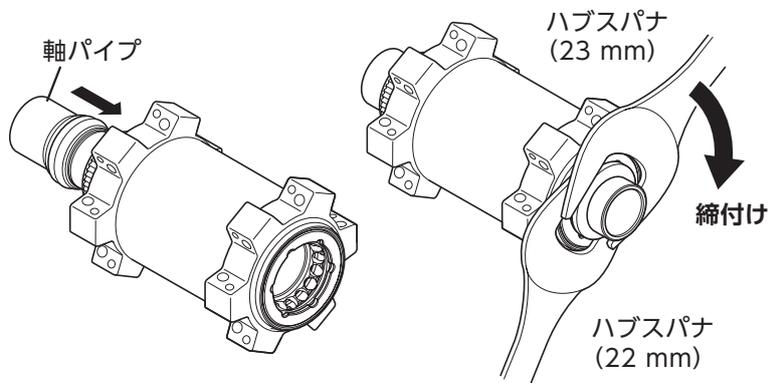
#### 使用上の注意:

- ハブ体左側 (ディスクブレーキローター取付けスプライン側) からの分解はできません。
- 軸パイプにかしめている防水カバーは分解しないでください。



#### < 組立 >

図のように軸パイプを取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。



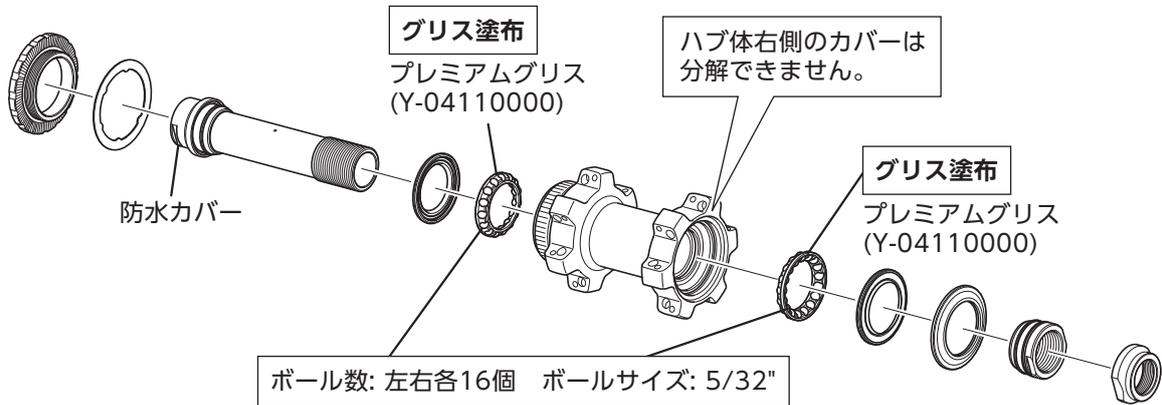
締付けトルク:  
21 - 26 N·m

### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。

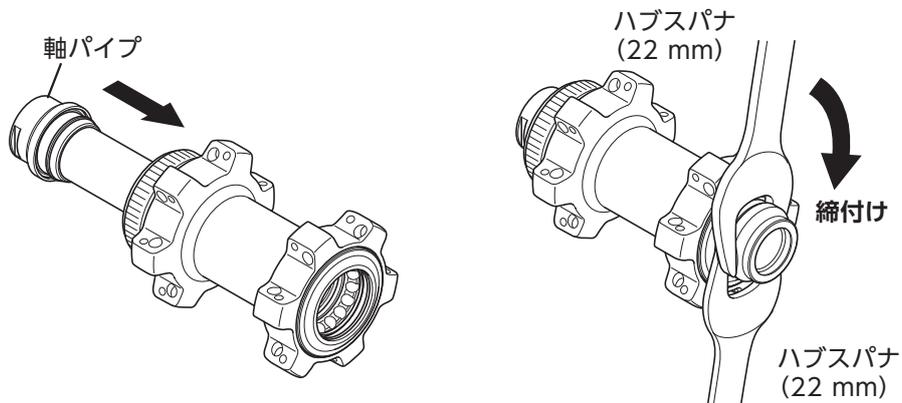
#### 使用上の注意:

- ハブ体左側 (ディスクブレーキローター取付けスプライン側) からの分解はできません。
- LH軸キャップにかしめている防水カバーは分解しないでください。



### < 組立 >

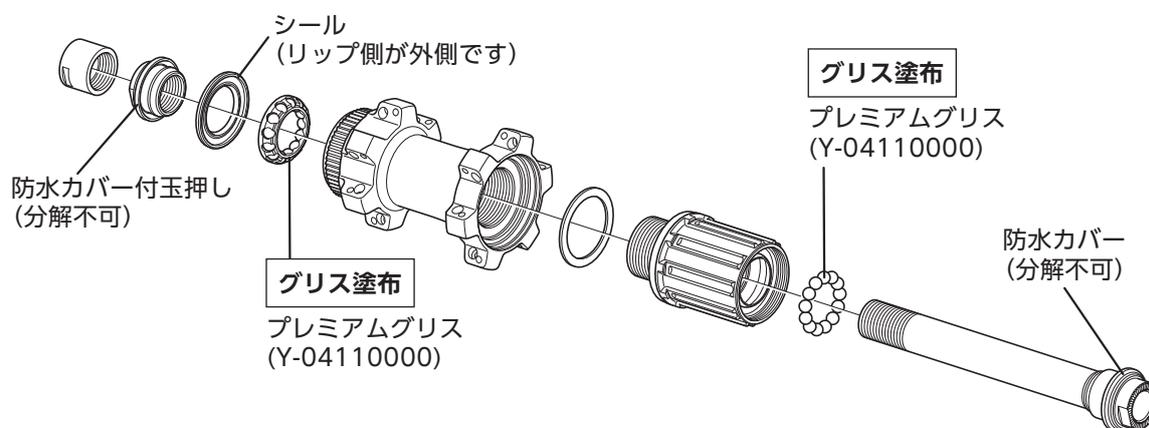
図のように軸パイプを取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。



締付けトルク:  
21 - 26 N·m

### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



### 使用上の注意:

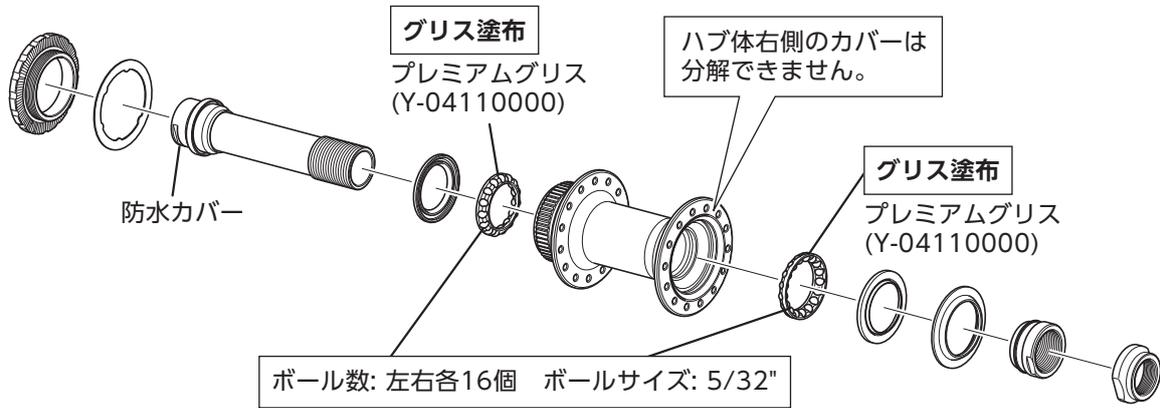
- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りま  
で組付けてください。
- ハブ軸および玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。

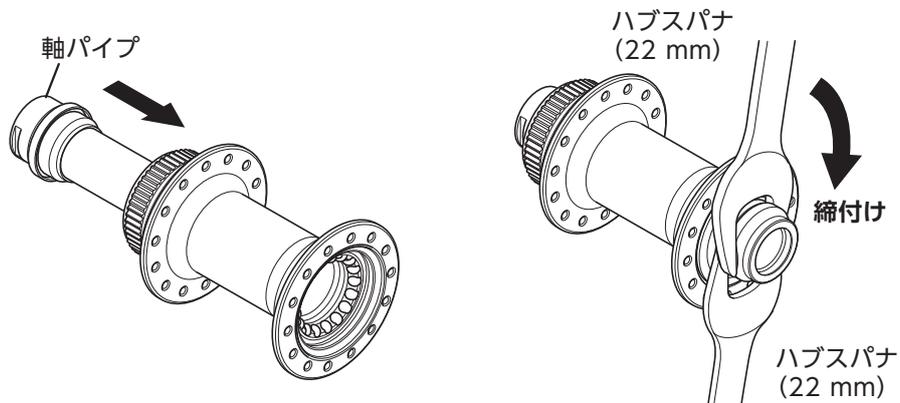
#### 使用上の注意:

- ハブ体左側 (ディスクブレーキローター取付けスプライン側) からの分解はできません。
- 軸パイプにかしめている防水カバーは分解しないでください。



### < 組立 >

図のように軸パイプを取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。

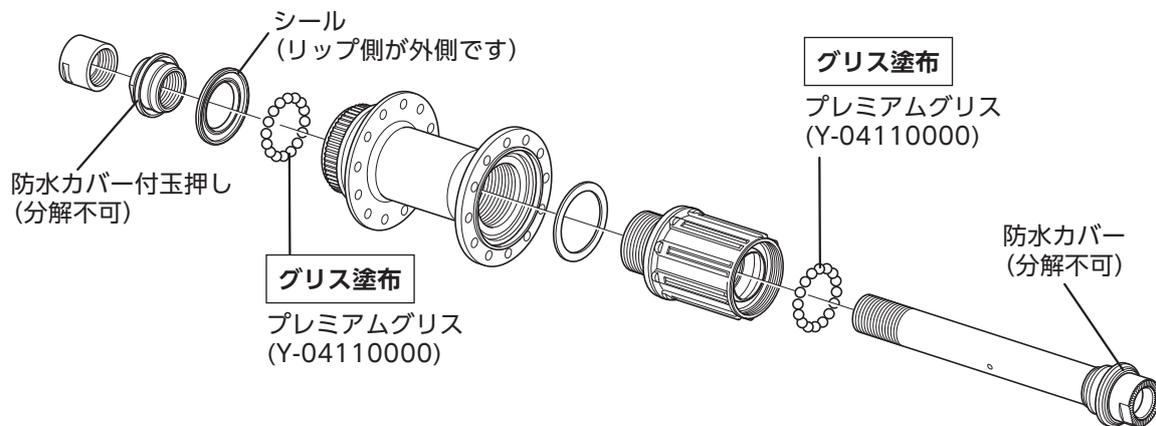


締付けトルク:  
21 - 26 N·m

## MT500 < リア >

### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



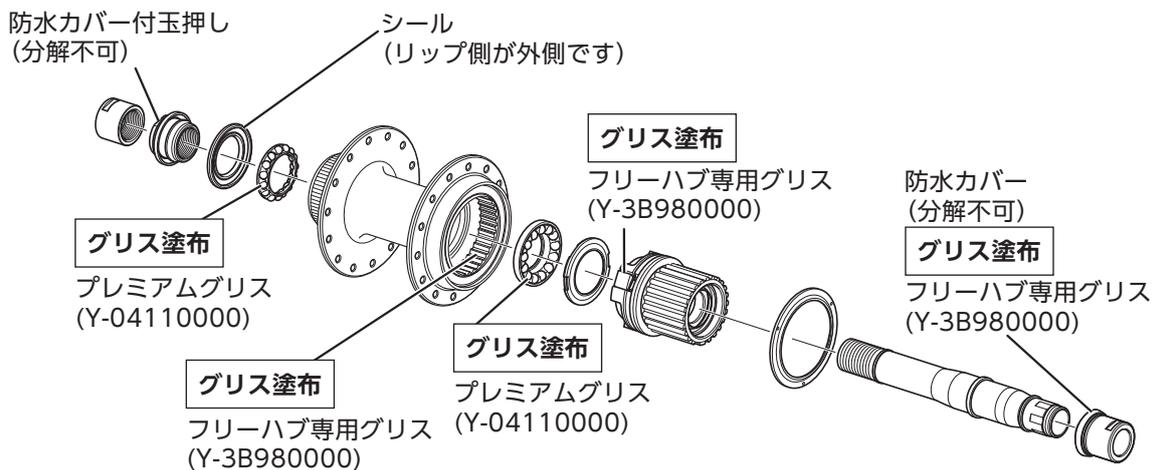
### 使用上の注意:

- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りま  
で組付けてください。
- ハブ軸および玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

## MT501/MT620 < リア >

### < 分解 >

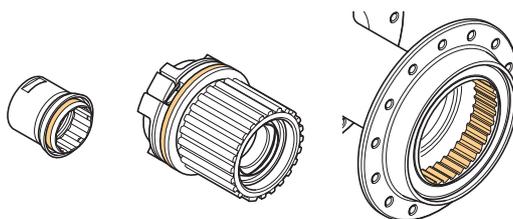
図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



### 使用上の注意:

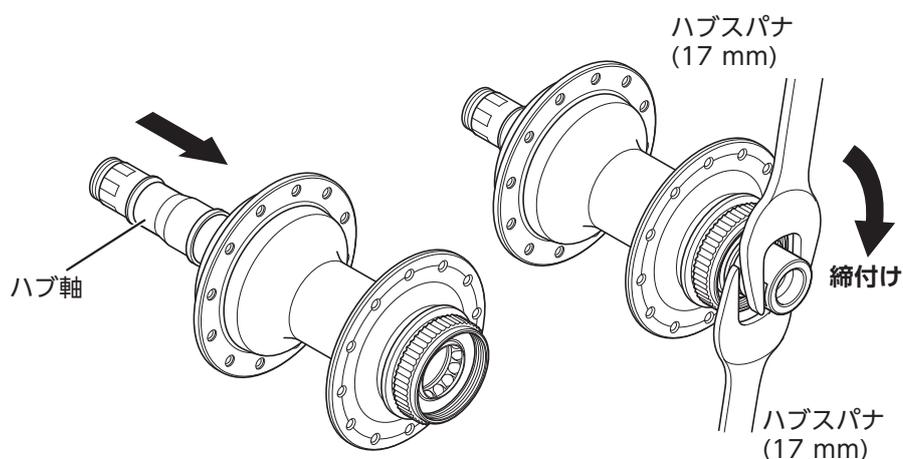
- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りま  
で組付けてください。
- ハブ軸および玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部を取外した際の組立では、組立て手順通りに行ってください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

- フリーホイール部には専用グリスを塗布してますので他のグリスと混ぜないでください。フリーホイールのクラッチ部の動作不良の恐れがあります。
- フリーハブ専用グリスは図の部分に塗布してください。



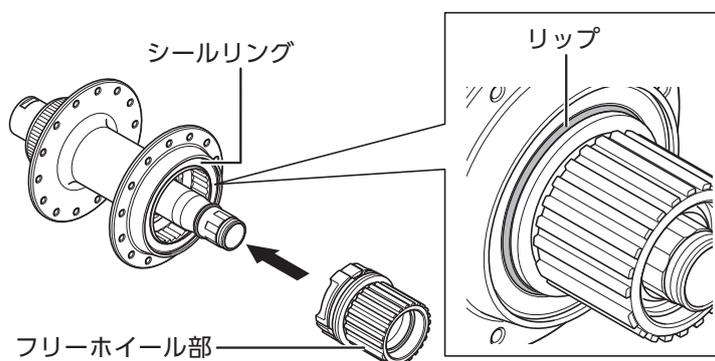
## < 組立 >

1. 図のようにハブ軸を取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。

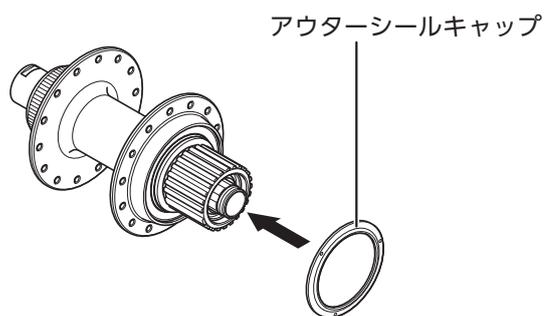


締付けトルク:  
10 - 15 N·m

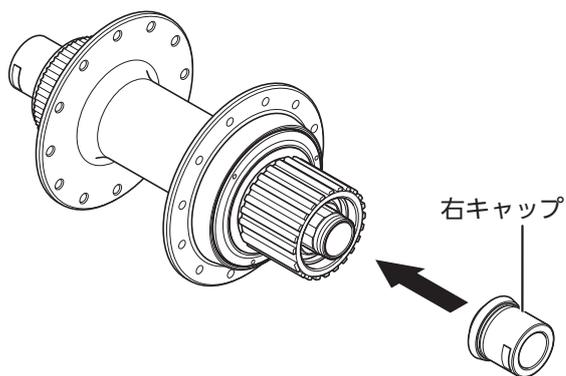
2. フリーホイール部を取付けてください。  
フリーホイール部を取り付けた際、シールリングのリップが裏返っていないか確認してください。



3. アウターシールキャップを溝部にはめ込み、取付けてください。



4. 右キャップを取付けてください。  
クリック感を伴うまで押込んでください。



## ■ 分解と組立 < クイックリリースタイプ >

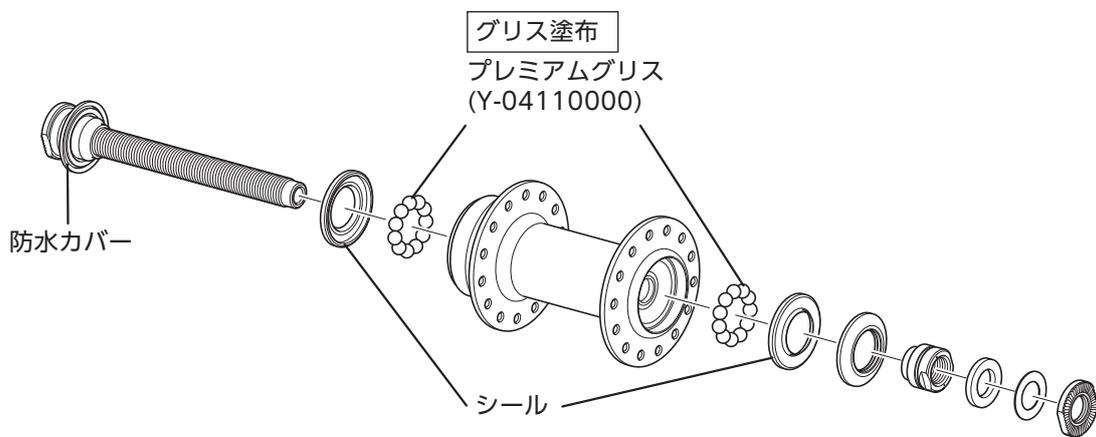
### WH-MT15-A-275 < フロント >

#### 使用上の注意:

- フロントハブはハブ体左側 (ディスクブレーキローター取付けスプライン側) からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組みつけてください。
- ハブ軸にかしめている防水カバーは分解しないでください。

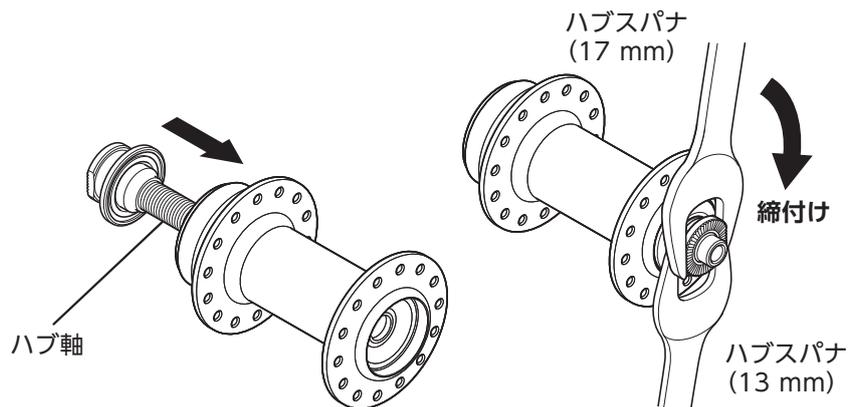
#### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



#### < 組立 >

図のようにハブ軸を取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。



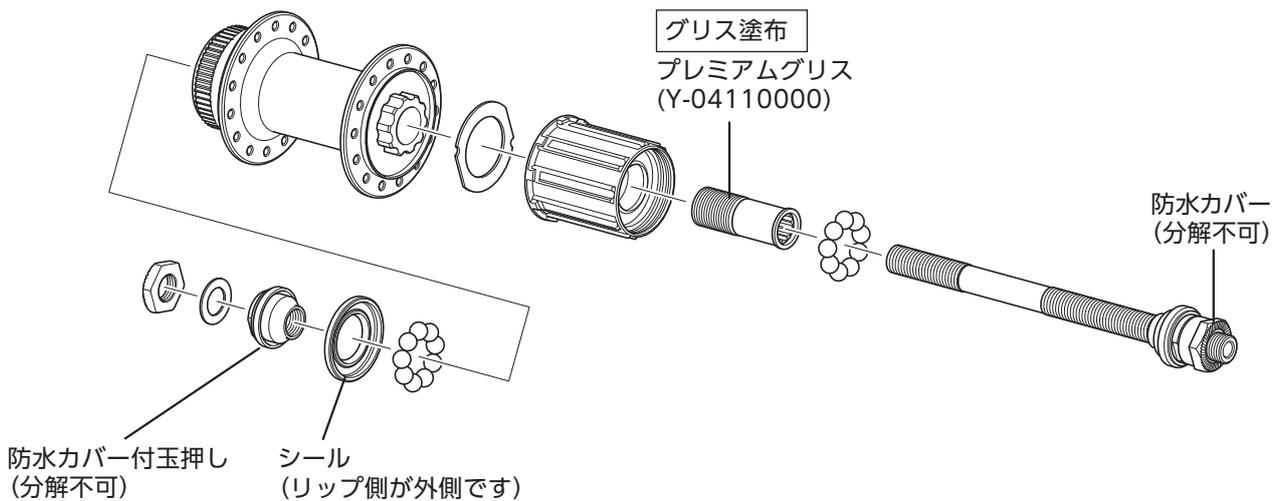
締付けトルク:  
15 - 20 N·m

### 使用上の注意:

- シール部の脱着は変形に十分気をつけて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りま  
で組みつけてください。
- 玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

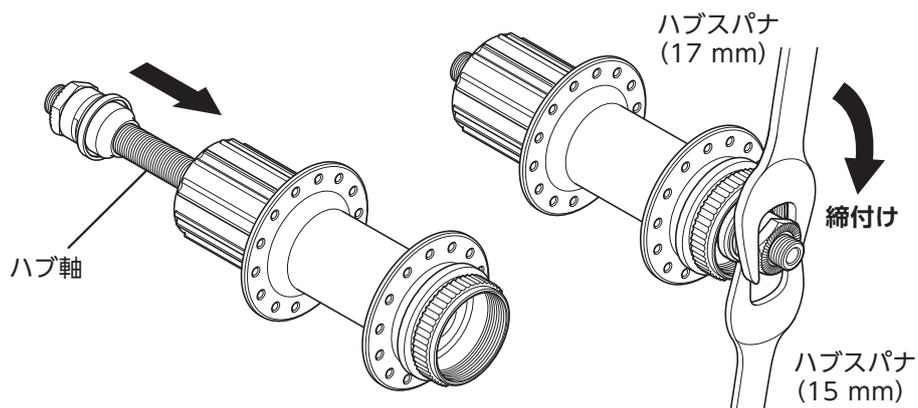
### < 分解 >

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



### < 組立 >

図のようにハブ軸を取付け、シマノ専用工具を使用してロックナットを締付けダブルロックしてください。



締付けトルク:  
10 - 15 N·m

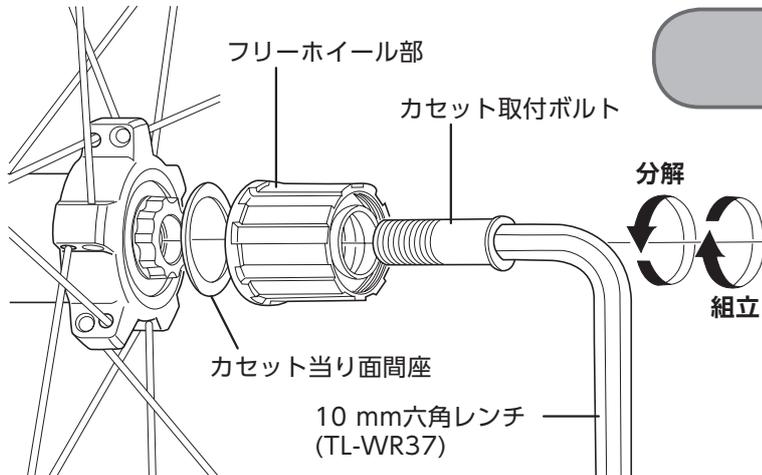
## ■ フリーホイール部の交換 < クイックリリースタイプ >

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取外し、フリーホイール部を交換してください。

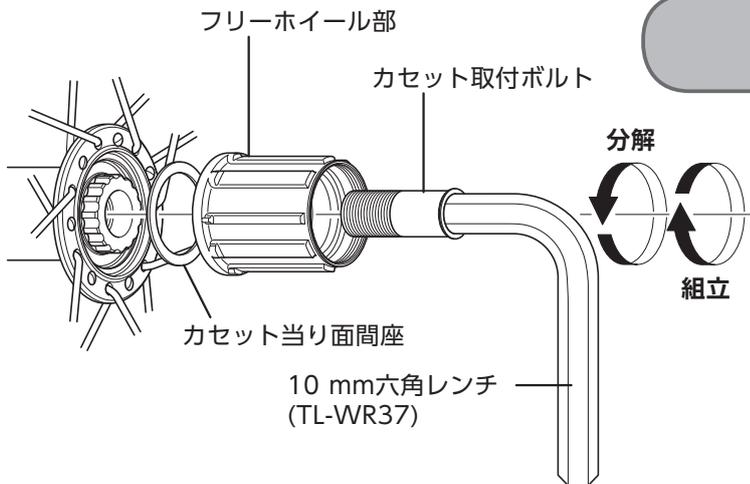
### 使用上の注意:

フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

### < MT68/MT66 >



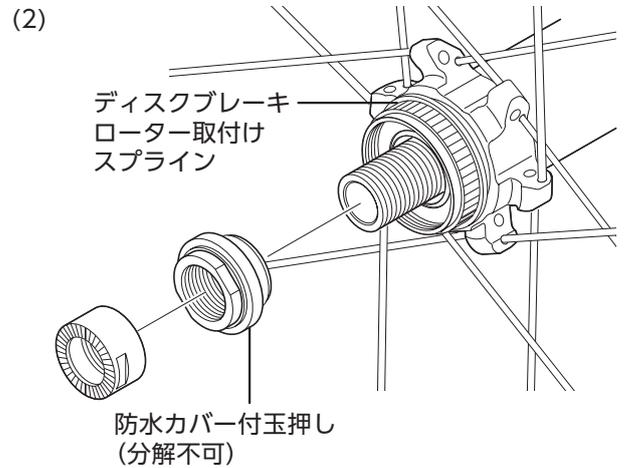
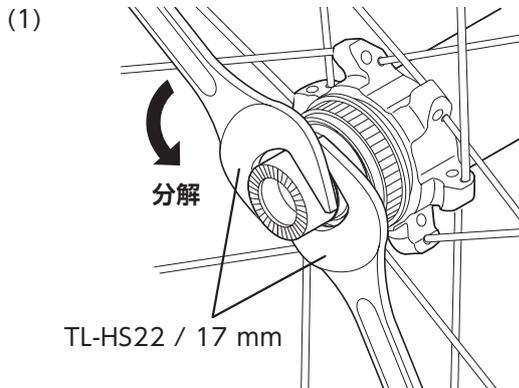
### < MT35/MT15-A >



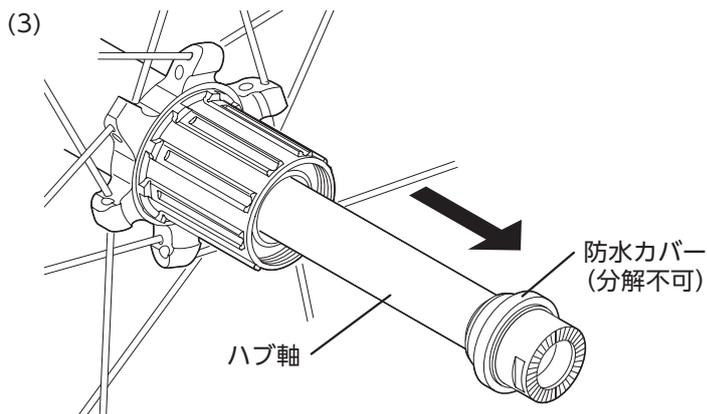
## ■ フリーホイール部の交換 < Thru Axleタイプ >

MT68/MT66/MT600

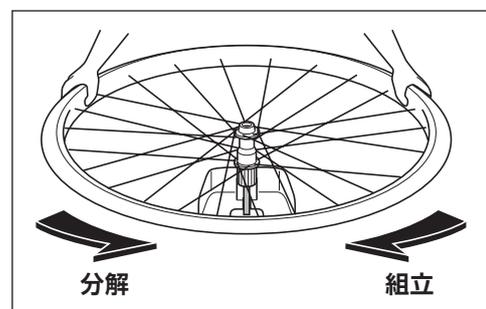
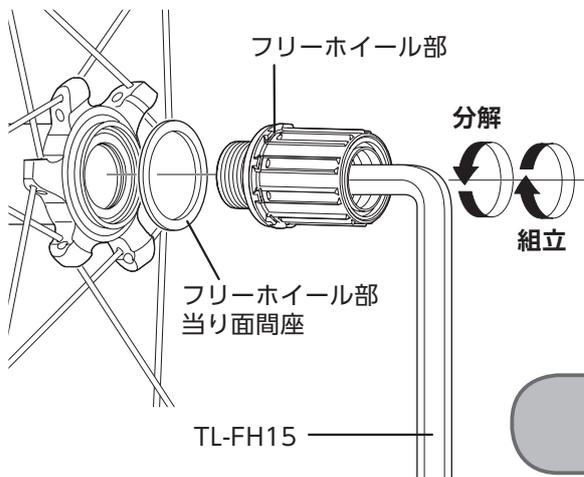
1. 最初に図の手順でハブ軸を抜き取ってください。  
フリーホイール部側のダブルロック部は分解できません。



左側締付けトルク：  
15 - 20 N・m



2. ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付ボルトを外し、フリーホイール部を交換してください。

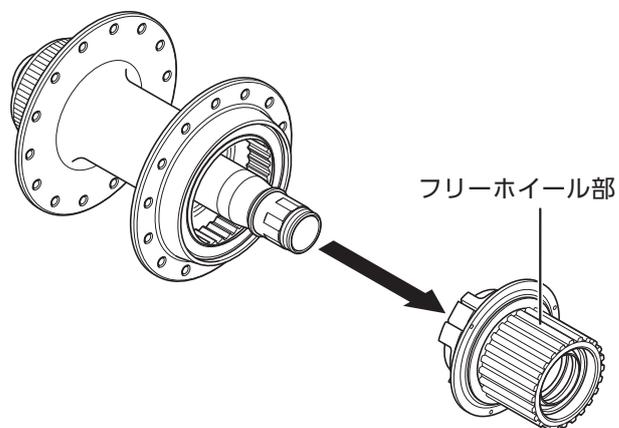


締付けトルク：  
150 N・m

1. 右キャップを取外してください。



2. フリーホイール部を抜き取って交換してください。



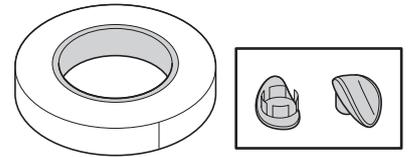
# タイプ-A：カバーリングテープとリム穴キャップを併用するタイプ

## ■ カバーリングテープとリム穴キャップの交換

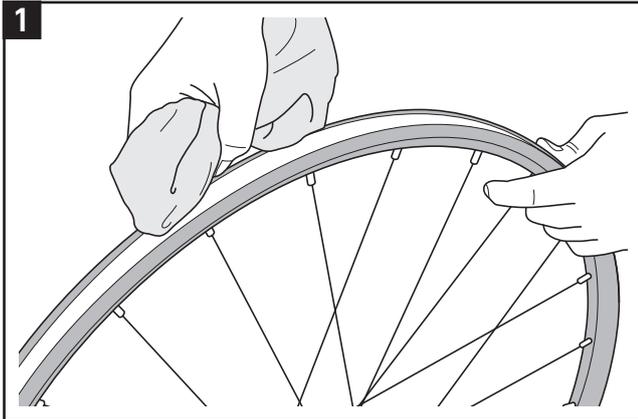
< WH-MT66 / MT66-29 / MT68 >

チューブレスタイヤ、クリンチャータイヤ共通

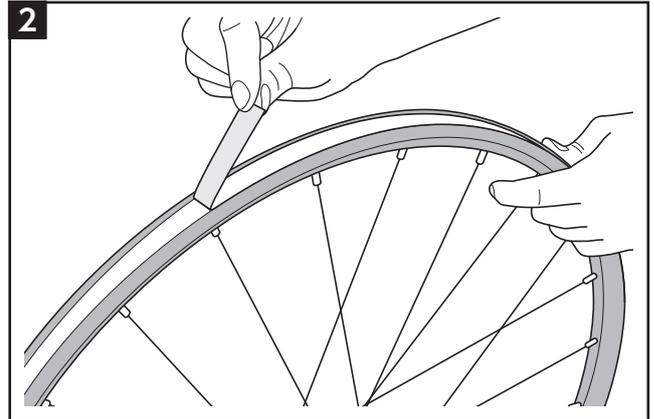
- カバーリングテープは再利用できませんので交換の際には新しいものを使用してください。
- カバーリングテープはリム幅に合ったものをご使用下さい。
- パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正カバーリングテープ、リム穴キャップの使用をお勧めします。



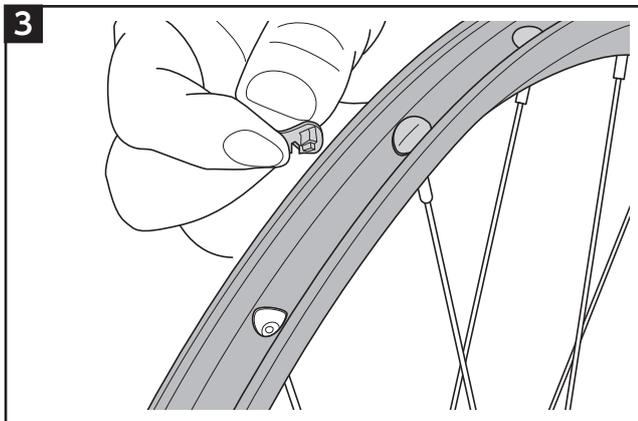
カバーリングテープ&リム穴キャップ



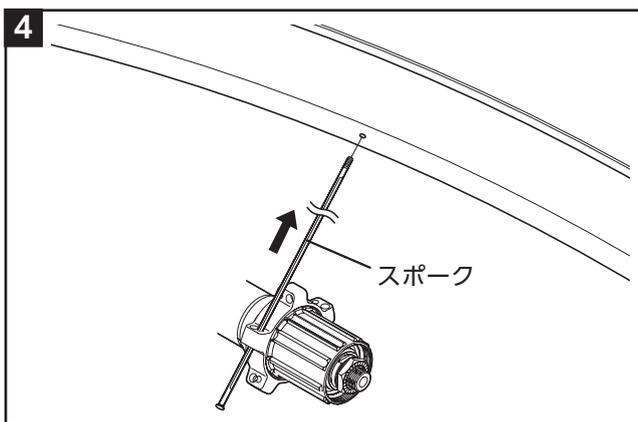
シーラント使用時は、シーラントを綺麗に拭き取ってください(水で洗い流せません)。



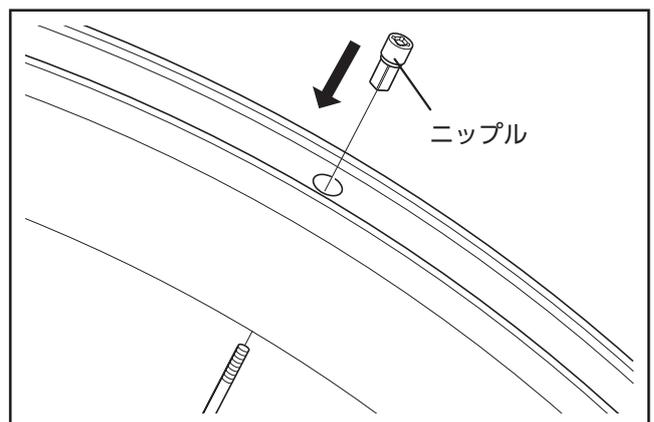
カバーリングテープを取外します。

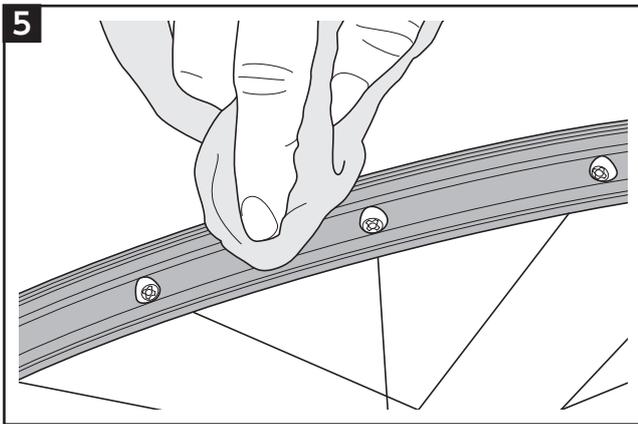


リム穴キャップを外します。

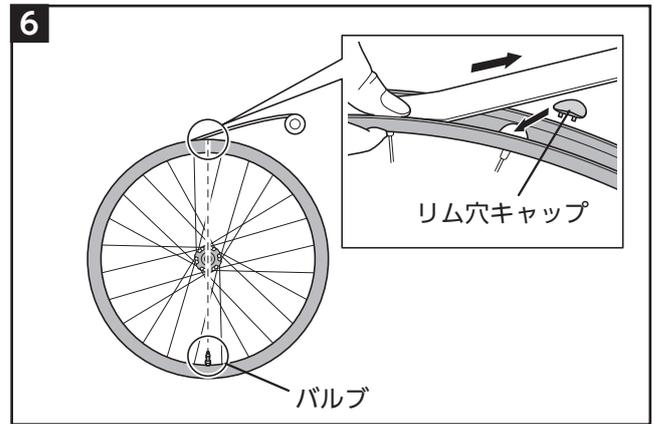


スポーク交換を行います。





5 リムのテープ貼付け面やリム穴を綺麗にしてください。



6 リム穴キャップをはめながら、新しいカバーリングテープを貼付けます。

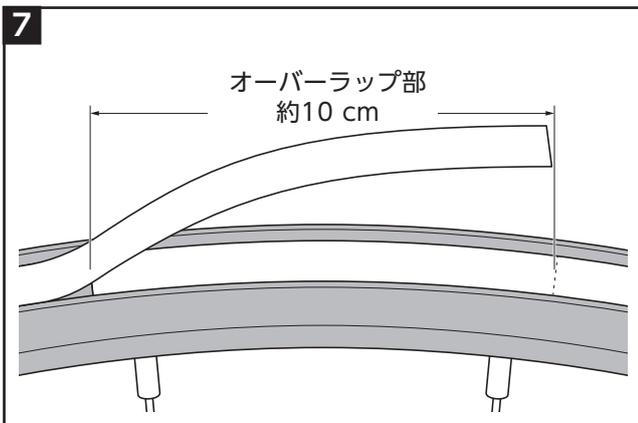
\* 貼り始めはバルブの反対側から始め、最後はオーバーラップさせてください。

\* カバーリングテープは、下図のように片側にずれることなく、リムの真ん中になるように貼付けます。

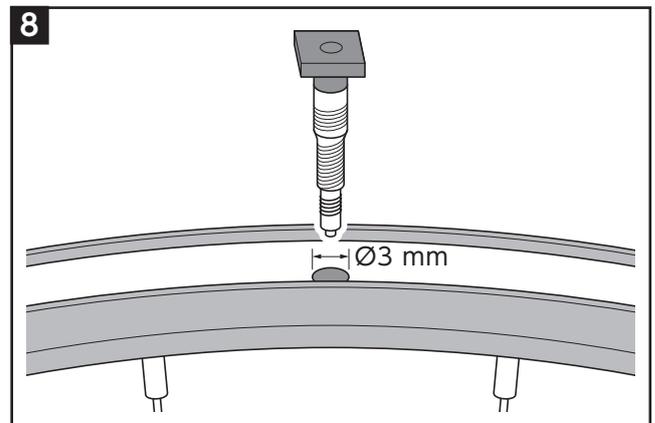


\* テープは、手である程度引っ張りながら貼付けます。

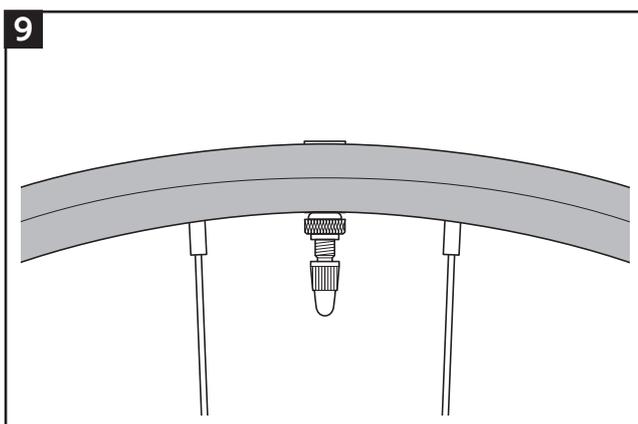
\* テープが破れますので、工具などは使わないでください(手で貼付ける)。



7 テープの両端までリムに密着させてください。



8 最後、バルブ穴部に $\text{Ø}3 \text{ mm}$ 程度の下穴を空けてからバルブをはめてください。

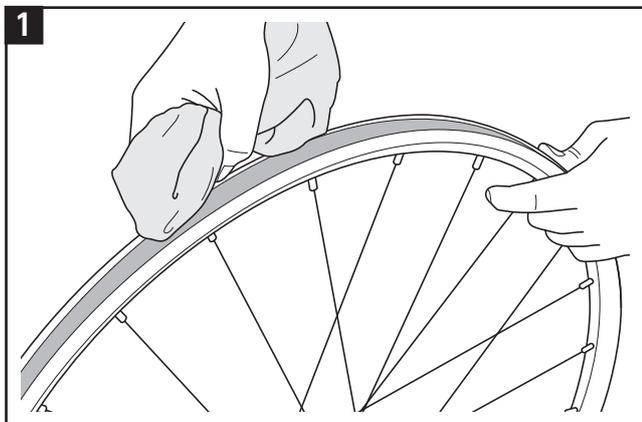


## タイプ-B：チューブレステープのみで、リム穴キャップは使用しないタイプ

### ■ チューブレステープの交換

< WH-MT66 / MT66-29 / MT68 / MT501 / MT600 / MT620 >

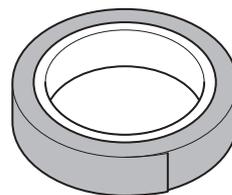
チューブレスタイヤ、クリンチャータイヤ共通



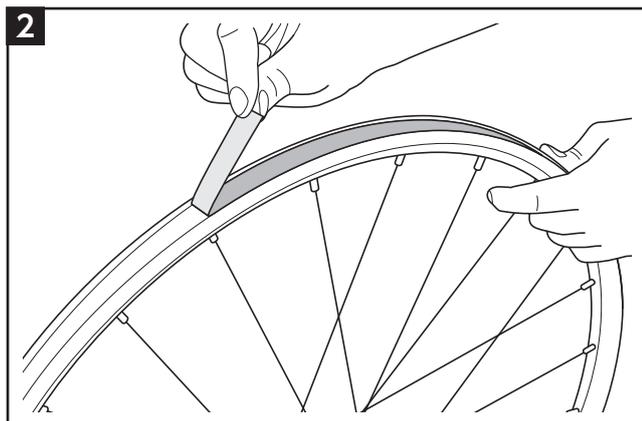
シーラント使用時は、シーラントを綺麗に拭き取ってください。

使用上の注意: チューブレステープは再利用できませんので交換の際には新しいものを使用してください。

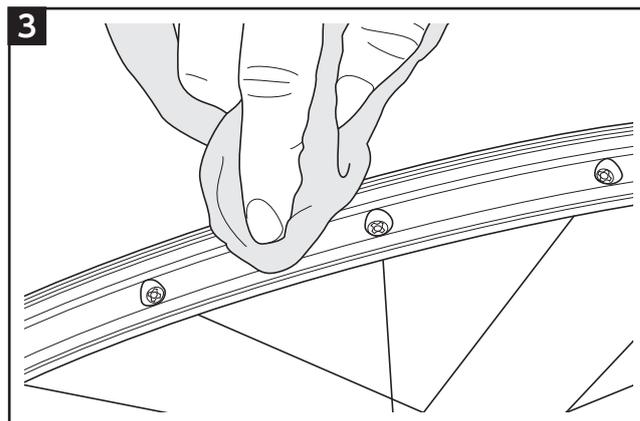
- チューブレステープはリム幅に合ったものを、ご使用下さい。
- パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正チューブレステープの使用をお勧めします。



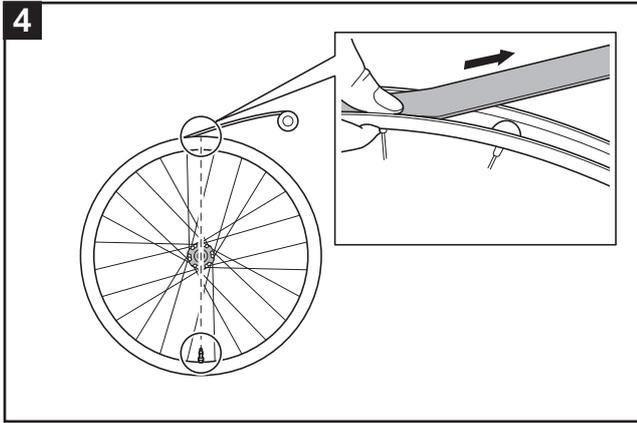
チューブレステープ



チューブレステープを取外します。



リムのテープ貼付け面やリム穴を綺麗にしてください。

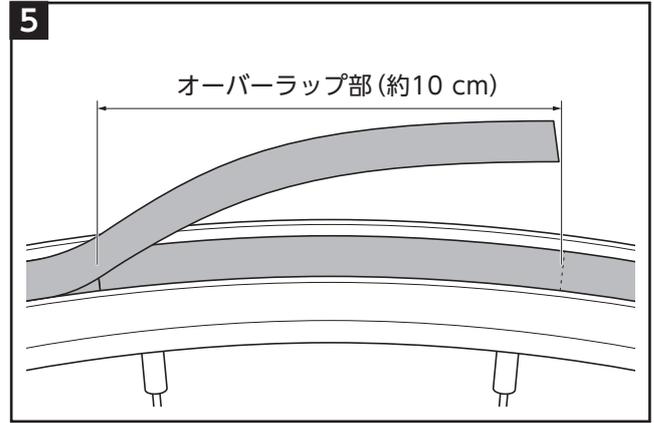


新しいチューブレステープを貼付けます。貼り始めはバルブの反対側から始めます。

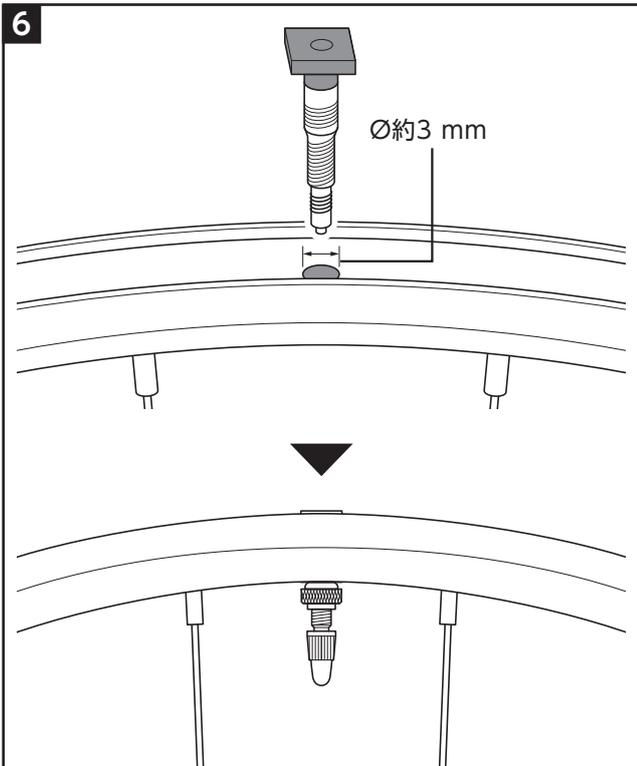
\*チューブレステープは、下図のように片側にずれることなく、リムの真ん中になるように貼付けます。



\*テープが破れますので、工具などは使わずに手で貼付けてください。テープを貼る際は、手である程度引っ張りながら貼付けます。



貼り終わりは約10 cmほどオーバーラップさせます。テープの両端はしっかりとリムに密着させてください。



バルブ穴部に $\text{\O}3$  mm程度の下穴を空け、バルブをはめてください。

## ■ シーラント剤の使用法(タイプ-Aの場合)

製品名	ホイールシーラント
内容量	300 ml
成分	プロピレングリコール・化学繊維・防錆剤・防腐剤
用途	シマノ「シーリングテープチューブレスシステム」ホイールをチューブレス化するためのシーラントです。 タイヤのパンク防止・修理剤ではありません。

### 安全のために必ずお守りください

#### ⚠ 警告

- すべての説明書を読み理解するまで、本製品を使用しない。
- 絶対に飲まない。万一飲み込んだ場合は、大量の水を飲み、すみやかに医師の診断を受けてください。
- 使用時はゴーグルなどで目を保護する。万一目に入った場合は、水でよく洗い、すみやかに医師の診断を受けてください。

#### 使用上の注意

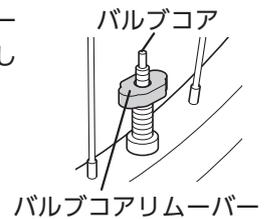
- 他の製品と混ぜて使用しないでください。
- タイヤに空気を入れる際は、バルブの位置を上にしてください。下にするとシーラントが飛び出す恐れがあります。
- 空気を抜く時は、エアゲージを使用しないでください。シーラントが飛び出しエアゲージにダメージを与える恐れがあります。
- 本製品は水で簡単に洗い流せます。
- 記載されている内容に不明な点がある場合は、購入された販売店または代理店へご相談ください。
- ディーラーマニュアルはウェブサイト (<https://si.shimano.com>) でご覧いただけます。

#### 保管および廃棄方法

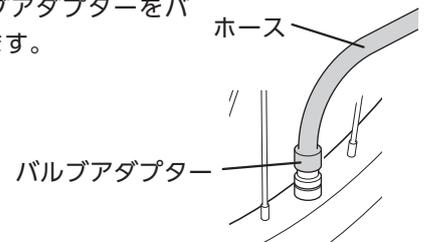
- 直射日光を避け、風通しの良い場所で容器を閉めて保管してください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 中身の液を使い切ってから廃棄してください。

### 使用方法

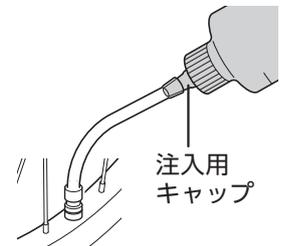
1. バルブコアリムーバー（ホイールに付属）でバルブコアを外します。



2. ホースのバルブアダプターをバルブにかぶせます。



3. 容器の外キャップと中蓋を外し、注入用キャップをホースに差込みます。



4. 規定量のシーラントを注入します。  
注入量目安：26インチ 100 ml  
29インチ 150 ml

5. バルブコアを確実に取付け、タイヤに規定量の空気を入れます。

6. ホイールを回してシーラントを全体に行き渡らせます。

7. 数時間放置し、ホイールから空気が抜けていないことを確認してください。



## ■ チューブレスタイヤの脱着方法

### 安全のために必ずお守りください

#### ⚠ 警告

- 取扱説明書はよく読んだ後、いつでも確認できる状態にしておく。
- タイヤの脱着は手でおこなう。  
どうしても作業が困難な場合は、樹脂製のチューブレス対応タイヤレバーを使用してください。その場合、タイヤとリムのシール部にダメージを与え、空気漏れを起こすおそれがありますので、必ずリム面の凹み、キズ、割れなどが発生していないか確認してください。また、カーボンリムの場合はカーボンの剥離やクラックなどが発生していないことを確認してください。最後に空気漏れの無いことを確認してください。

#### ⚠ 注意

- インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しない。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などの恐れがあります。
- バルブナットを締過ぎるとバルブシールが変形して、空気漏れを起こす恐れがあります。

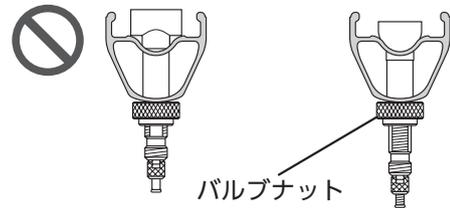
#### 使用上の注意

- タイヤがはめにくい時は、水あるいは石けん水を使用してすべりをよくしてください。
- タイプ-Aの場合、チューブレスタイヤでシーラントを併用する際、タイヤがはめにくい時やタイヤに空気が入りにくい場合はビード部にシーラントを塗布してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

#### 使用方法

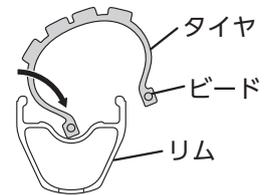
##### 1. チューブレスバルブの装着

- 図のようにバルブの向きに注意して取付けてください。  
バルブナットを締込んだ時にバルブとバルブナットが共回りしていないことを確認してください。

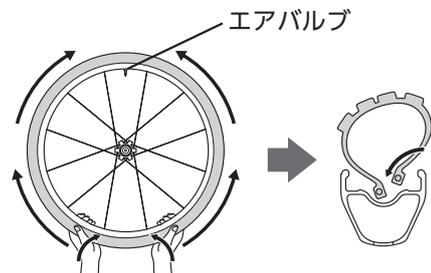


##### 2. タイヤの装着

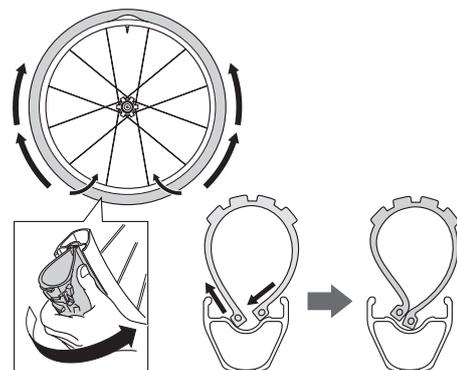
- 図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。  
この時、タイヤビード部、リムおよびバルブ部にゴミや傷などが無いことを確認してください。



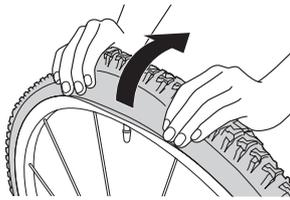
- エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットします。



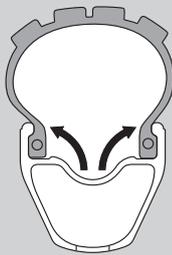
エアバルブ側は入れにくくなりますので、その場合反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところまで繰り返します。



最後に図のように両手で  
タイヤを握って、タイヤを  
リムに入れます。

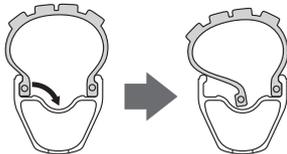


空気を入れてタイヤのビードを  
図のようにリムにロックさせます。  
この後一度空気を抜いてビードが  
リムにロックされていることを確  
認し、再度使用される空気圧まで  
空気を入れてください。  
ビードがロックされていないと空  
気を抜いた時にビードがリムから  
外れます。  
(MAX: タイヤ空気圧 400 kPa/58 psi)



### 3. タイヤの取外し

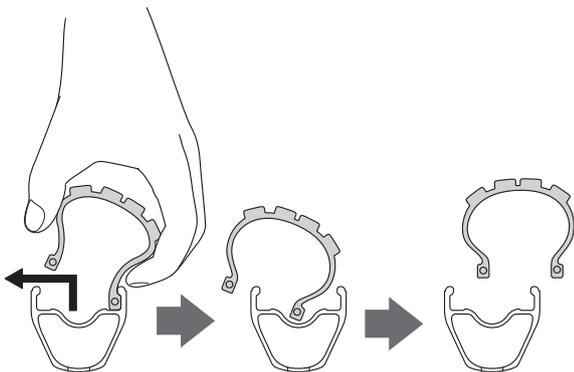
- タイヤの空気を抜いて  
から片方のビードを図  
のようにリムのハンパ  
の内側の溝に落とし込  
ませます。



#### 使用上の注意:

ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。両側を落と  
し込むとタイヤが外しにくくなります。両方落とし込んだ  
場合はもう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤ  
の取外しの最初の手順に戻ってください。

- エアバルブ側から片方のビードを取外し、その後も  
う一方のビードを取外します。



### 4. インナーチューブ使用時のご注意

- エアバルブのロックリングを緩め、エアバルブを外  
します。
- 図のようにタイヤの片方のビード  
をはめ込みます。



- リム外周部とタイヤビード部を十分に濡らし、少し膨ら  
ませたインナーチューブをタイヤの中にすべらせるよ  
うに装着します。
- インナーチューブのエアバルブがリムに対応するか  
チェックしてください。
- エアバルブの反対側からビードをはめ込んでください。  
この時、チューブを挟まないように注意してください。  
必要であれば、石けん水をお使いください。
- タイヤがロックされるまでインナーチューブを膨らませ  
てください。
- インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しない  
でください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイ  
ヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによ  
る転倒などの恐れがあります。
- 対応チューブの仕様については認定店にご相談くださ  
い。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地